
高 効 率 ご み 発 電 施 設
施 設 整 備 基 本 計 画 書

平 成 26 年 7 月

須賀川地方保健環境組合

序 章 計画概要

- 1. 計画の目的 0-1
- 2. 計画の構成 0-1

第Ⅰ章 全体計画

- 1. 基本条件の整理 1-1
- 2. 施設整備における基本方針 1-5
- 3. 計画ごみ処理量及び計画ごみ質の設定 1-6
- 4. 環境保全計画 1-10
- 5. 災害防止計画 1-18

第Ⅱ章 熱回収施設基本計画

- 1. 基本システムの検討 2-1
- 2. プラント基本計画・設計 2-30
- 3. 余熱利用計画 2-74
- 4. 運転管理計画 2-82
- 5. 選定システムまとめ 2-89

第Ⅲ章 解体計画

- 1. 目 的 3-1
 - 2. 諸条件及び法規制の整理 3-2
 - 3. 環境保全目標 3-9
 - 4. 解体工事範囲 3-10
 - 5. 作業管理区域の設定 3-11
 - 6. 除染計画 3-13
 - 7. 仮設計画 3-17
 - 8. 解体工法及び解体手順 3-19
 - 9. 作業中の粉じん等飛散防止 3-27
 - 10. 廃棄物の保管方法及び処理・リサイクルの方法 3-28
 - 11. 工事期間中の周辺及び作業環境状況調査 3-30
 - 12. 解体工事工程 3-32
-

第Ⅳ章 その他施設計画

1. スtockヤード計画 4-1
2. 全体配置・動線計画 4-5
3. 建設スケジュール 4-7

第Ⅴ章 事業方式検討

1. 調査の目的及び検討手順 5-1
 2. PFI 等事業の概要 5-3
 3. 施設計画の概要 5-18
 4. 調査対象事業方式の抽出 5-19
 5. 市場調査 5-24
 6. PFI 等導入可能性調査の検証と評価 5-40
 7. 事業実施手順と今後の課題 5-58
-

序 章

計 画 概 要

1. 計画の目的

須賀川地方保健環境組合（構成市町村：須賀川市、鏡石町、天栄村の１市１町１村）（以下、「本組合」という。）地域のごみ総排出量（集団回収量を含む）は、平成18年度～平成24年度の期間は、約32～35千 t /年で推移している。ごみ総排出量に占める割合は、家庭ごみが約8割、事業系ごみが約2割となっている。また、一人一日当たりのごみ排出量は、東日本大震災発生後の平成23年度以降において発生前の水準よりも増加しており、今後は更なる減量化・資源化施策を推進していく必要がある。

本計画は、新たに整備を予定している熱回収施設について、「一般廃棄物処理基本計画（平成25年9月策定）」「循環型社会形成推進地域計画（平成25年11月策定）」で定めた内容に基づき、熱回収施設の整備を行う上で必要な事項について定めることを目的とする。

2. 計画の構成

本計画は、以下の５つの計画で構成する。

- ・ 全体計画
- ・ 熱回収施設基本計画
- ・ 解体計画
- ・ その他施設計画
- ・ 事業方式検討